
平成 21 年度中間決算について

(株)日本旅行（社長：丸尾和明、本社：東京都港区）では、平成 21 年度（2009 年度）1 2 月期における中間決算が確定致しましたので、お知らせ致します。

平成21年12月期 中間決算概要

平成21年8月26日

会 社 名 株式会社 日本旅行

本社所在都道府県
東 京 都

(百万円未満切捨て)

1. 21年6月中間期の連結業績(平成21年1月1日~平成21年6月30日)

(1)連結経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月中間期	22,111	20.0	4,226	-	3,853	-	2,554	-
20年6月中間期	27,654	4.3	2,667	-	2,235	-	1,617	-
20年12月期	59,113	6.9	1,136	-	95	95.9	383	-

	1株当たり中間 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間(当期)純利益
	円 銭	円 銭
21年6月中間期	42 58	
20年6月中間期	26 96	
20年12月期	6 39	

(参考) 持分法投資損益 21年6月中間期 31百万円 20年6月中間期 119百万円 20年12月期 210百万円

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年6月中間期	75,986	10,395	13.4	169 34
20年6月中間期	87,345	12,298	13.8	200 75
20年12月期	85,794	12,465	14.2	203 15

(参考) 自己資本 21年6月中間期 10,160百万円 20年6月中間期 12,045百万円 20年12月期 12,189百万円

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年6月中間期	7,711	6,373	287	6,612
20年6月中間期	9,856	7,956	26	8,577
20年12月期	2,658	967	177	8,073

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	-	-	-
21年12月期	-	-	0 00
21年12月期(予想)	-	-	-

3. 21年12月期の連結業績予想(平成21年1月1日~平成21年12月31日)

下期の経済環境は、世界規模の経済危機の影響を受け、一部に下げ止まりの兆しはあるものの、全体的には不安定な状況が継続するものと思われまます。加えて、新型インフルエンザについては、国内における本格的な流行期に入っていると報道されており、特に国内旅行の比重が大きい当社にとって、今後の需要動向は一段と不透明さを増しております。このような状況により、21年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で合理的な算定が極めて困難であることから、記載をしております。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） 無
- (2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの）
 会計基準等の改正に伴う変更 有
 以外の変更 無
- (3) 発行済株式数（普通株式）
 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年6月中間期 60,000千株 20年6月中間期 60,000千株 20年12月期 60,000千株
 期末自己株式数 21年6月中間期 -株 20年6月中間期 -株 20年12月期 -株

(参考)個別業績の概要

1. 21年6月中間期の個別業績(平成21年1月1日～平成21年6月30日)

(1)個別経営成績 (％表示は対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年6月中間期	18,697	19.4	3,210	-	2,767	-	1,655	-
20年6月中間期	23,203	3.4	2,176	-	1,784	-	1,128	-
20年12月期	50,294	6.1	1,301	-	281	-	361	-

	1株当たり中間 (当期)純利益	
	円	銭
21年6月中間期	27	59
20年6月中間期	18	81
20年12月期	6	03

(2)個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年6月中間期	68,578	7,403	10.8	123 39
20年6月中間期	77,703	8,444	10.9	140 74
20年12月期	78,713	8,680	11.0	144 67

(参考)自己資本 21年6月中間期 7,403百万円 20年6月中間期 8,444百万円 20年12月期 8,680百万円

2. 21年12月期の個別業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

下期の経済環境は、世界規模の経済危機の影響を受け、一部に下げ止まりの兆しはあるものの、全体的には不安定な状況が継続するものと思われます。加えて、新型インフルエンザについては、国内における本格的な流行期に入っていると報道されており、特に国内旅行の比重が大きい当社にとって、今後の需要動向は一段と不透明さを増しております。このような状況により、21年12月期の個別業績予想につきましては、現時点で合理的な算定が極めて困難であることから、記載をしておりません。

平成21年度中間決算の概要

1. 全般の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、100年に一度の世界的な経済危機の影響等を受け、企業収益が大幅に減少したほか個人消費も低迷し、一部に下げ止まりの兆しも見られたものの、全体としては厳しい状況となりました。

旅行業界においては、経済危機の影響に加え、4月下旬以降、新型インフルエンザの影響を受けたことにより、教育旅行をはじめとした旅行の中止や延期、企業出張の抑制等が発生し、国内旅行、海外旅行、訪日外国人旅行（インバウンド）ともに極めて厳しい状況となりました。

このような状況のなか、当社グループにおいては、インターネット販売の拡大やMICE（Meeting、Incentive、Convention、Exhibition）営業の強化など「選択と集中」を加速化するとともに、マーケット動向に柔軟に対応し、営業時間の見直しなど「弾力的業務運営」に取り組んでまいりました。

成長分野においては、インターネット販売の拡大に向けて、海外商品のインターネット販売システムを一新したほか、インターネット専用商品など掲載商品の拡充に取り組んでまいりました。また、B2M営業においては、一般企業や国立大学法人等に対する「出張なび」の営業体制を強化したほか、インバウンド営業においては、自治体や海外へ進出する企業等への営業強化に加え、英語版オンライン宿泊予約システム「Japan Hotel & Ryokan Pass Online」による販売強化を推し進めてまいりました。さらに特定マーケット営業では、首都圏個人マーケットの取扱拡大に向けて会員組織「倶楽部 旅カクテル」を立ち上げ、メールマガジン会員の登録拡大や会員専用商品の展開に取り組んだほか、富裕層マーケットに対しては、専用カタログ「地球の贈り物」の展開を開始するなど、販売強化を図ってまいりました。

基幹分野においては、MICEの取扱拡大に向けて「MICE営業部」を本社に新設し、情報収集や営業支援を行うなど、法人マーケットの強化を進めてまいりました。個人マーケットに対しては、JR各社との緊密な連携のもと、「ディスカバー・ウェスト」商品をはじめとしたJR利用商品のさらなる展開強化に努めたほか、海外旅行においては、「きっと見つかる！台湾」キャンペーンの全社的な展開に加え、特にヨーロッパ商品の充実に取り組んでまいりました。

その一方で、経済危機や新型インフルエンザによる影響など、マーケットの変化に対応した「弾力的業務運営」を推進してまいりました。具体的には、各店舗における営業日や営業時間、要員体制等を需要動向に応じて見直したほか、首都圏や京阪神地区においては、チェーンオペレーションの開始準備に取り組みました。あわせて、複数部門の業務に対応できる「ユーティリティープレーヤー」を育成すべく、教育、研修の充実を進めてまいりました。

コンプライアンスについては、コンプライアンス推進委員会を機軸とし、勤務管理の厳正化や個人情報保護、独占禁止法の遵守など、具体的に発生した問題への対処を含め、グループ全社を挙げて強化を図ってまいりました。

以上のような諸施策を推し進めてまいりましたが、100年に一度の経済危機に加え、新型インフルエンザの影響を受けたことは、当社グループに大きな打撃となりました。このような状況下、全社的なコスト削減等に努めてまいりましたが、販売の減少を補うには至らず、当中間連結会計期間の営業収益は221億11百万円（前年同期比80.0%）、営業損失は42億26百万円（前年同期比1,558百万円）、経常損失は38億53百万円（前年同期比1,617百万円）となり、法人税等を控除した中間純損失は25億54百万円（前年同期比937百万円）となりました。

2. 営業施策の状況（数値は単体）

各部門において、様々な施策に取り組んでまいりましたが、極めて厳しい状況のもと、販売高および営業収益はそれぞれ前期を下回りました。

< 国内旅行部門 >

企画商品では、JR西日本との連携による赤い風船の「ディスカバー・ウェスト」商品や、JRグループのデスティネーションキャンペーン（京都、兵庫）にあわせた商品展開など、JR利用商品のさらなる拡充に取り組んでまいりました。また、「善光寺ご開帳」と連動した信州キャンペーンや、6月中旬からは「がんばる関西！」応援キャンペーンを展開するなど各施策を推し進めてまいりましたが、国内企画商品の販売高は372億90百万円（対前期93.0%）となりました。

団体旅行では、新設したMICE営業部を機軸とし、MICE需要の取扱拡大を図ったほか、マーケット環境の変化に対応し、組織や教育関連、官公庁など比較的安定したマーケットへの集中営業を展開してまいりましたが、販売高は259億58百万円（対前期85.5%）となりました。

また、インターネット販売においては、インターネット専用商品に加え、あらかじめ交通や観光施設、宿泊をセットした個人型観光周遊プラン「旅ラクにつぼん」など、取扱商品の拡大を実施しました。

これらの結果、国内旅行販売高は1,143億30百万円（対前期84.5%）、営業収益は127億70百万円（対前期86.3%）となりました。

< 海外旅行部門 >

企画商品では、燃油サーチャージの引き下げに対応し、よりリーズナブルでお求めやすい価格での展開を進めてまいりました。特にマッハ・ベストのヨーロッパ商品については、当社グループが強みを持つ方面として、商品の充実とヨーロッパプラザ（新宿）やインターネット等における販売強化を推し進めてまいりましたが、海外企画商品の販売高は249億3百万円（対前期82.5%）となりました。

団体旅行では、「きっと見つかる！台湾」キャンペーンなど集中販売の取り組みを強化してまいりましたが、販売高は74億63百万円（対前期61.2%）となりました。

これらの結果、海外旅行販売高は438億6百万円（対前期64.8%）、営業収益は51億9百万円（対前期67.9%）となりました。

< 国際旅行部門 >

国際旅行については、企業や自治体、大学等への営業展開に加え、海外における商談会への積極的な出展や英語版ホームページによるオンライン販売の強化などを推し進めてまいりましたが、販売高は32億43百万円（対前期82.0%）、営業収益は5億18百万円（対前期94.7%）となりました。

中間比較連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 平成20年12月31日現在	当中間連結会計期間末 平成21年6月30日現在	増 減
(資産の部)			
流動資産			
1. 現金及び預金	8,382	6,975	
2. 受取手形及び未収入金	18,819	17,802	
3. 短期貸付	26,071	18,561	
4. その他の貸倒引当金	7,803	8,508	
	113	196	
流動資産合計	60,964	51,651	9,312
固定資産			
1. 有形固定資産			
(1) 建物及び構築物	5,687	5,634	
減価償却累計額	3,458	3,477	
(2) 土地	2,228	2,157	
(3) リース資産	931	932	
(3) リース資産	3,452	3,485	
減価償却累計額	184	478	
(4) その他の固定資産	4,656	4,849	
減価償却累計額	3,845	3,909	
有形固定資産合計	7,239	7,036	202
2. 無形固定資産			
(1) のれん	534	428	
(2) その他	2,792	2,780	
無形固定資産合計	3,327	3,208	118
3. 投資その他の資産			
(1) 投資有価証券	3,666	3,481	
(2) その他	11,416	11,476	
貸倒引当金	820	867	
投資その他の資産合計	14,263	14,090	172
固定資産合計	24,829	24,335	494
資産合計	85,794	75,986	9,807
(負債の部)			
流動負債			
1. 支払手形及び未払金	5,915	4,580	
2. 受託販売金	20,441	13,688	
3. 預り金	16,846	20,826	
4. その他の流動負債	14,506	11,593	
流動負債合計	57,710	50,689	7,021
固定負債			
1. 退職給付引当金	8,618	8,404	
2. 旅行券引換引当金	2,796	2,582	
3. その他	4,203	3,914	
固定負債合計	15,618	14,902	716
負債合計	73,328	65,591	7,737
(純資産の部)			
株主資本			
1. 資本金	4,000	4,000	-
2. 資本剰余金	3,001	3,001	-
3. 利益剰余金	6,002	3,437	2,564
株主資本合計	13,003	10,438	2,564
評価・換算差額等			
1. その他有価証券評価差額金	37	50	87
2. 繰越ヘッジ損益	292	170	463
3. 為替換算調整勘定	558	398	160
評価・換算差額等合計	814	278	535
少数株主持分	275	235	40
純資産合計	12,465	10,395	2,069
負債・純資産合計	85,794	75,986	9,807

(注) 記載金額は、単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

中間比較連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増 減
	自 平成20年 1月 1日	至 平成20年 6月30日	自 平成21年 1月 1日	至 平成21年 6月30日	
営業収益		27,654		22,111	5,543
営業費用		30,322		26,338	3,984
営業損失		2,667		4,226	1,558
営業外収益					
1 受取利息	145		110		
2 為替差益	125		232		
3 持分法による投資利益	119		31		
4 その他	83	473	75	450	23
営業外費用					
1 支払利息	27		62		
2 その他	13	41	14	77	35
経常損失		2,235		3,853	1,617
特別利益		26		50	23
特別損失		229		71	157
税金等調整前当期純損失		2,439		3,875	1,436
法人税、住民税及び事業税	230		132		
法人税等調整額	1,031	801	1,411	1,279	477
少数株主利益(は損失)		20		41	20
当期純損失		1,617		2,554	937

(注) 記載金額は、単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

中間比較連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前年差
		自平成20年1月1日 至平成20年6月30日	自平成21年1月1日 至平成21年6月30日	
		金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
1	税金等調整前当期純利益（純損失）	2,439	3,875	
2	減価償却費	791	1,008	
3	貸倒引当金の増加額（減少額）	62	130	
4	退職給付引当金の増加額（減少額）	119	214	
5	売上債権の減少額（増加額）	5,346	922	
6	仕入債務の増加額（減少額）	281	1,140	
7	受託販売金の増加額（減少額）	3,118	6,753	
8	その他	1,410	2,413	
	小 計	9,041	7,507	1,533
9	法人税等の支払額等	814	203	
営業活動によるキャッシュ・フロー		9,856	7,711	2,144
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1	有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出	1,114	1,033	
2	有形固定資産及び無形固定資産の売却による収入	3	3	
3	貸付による支出	36,541	40,034	
4	貸付金の回収による収入	45,549	47,545	
5	その他	59	107	
投資活動によるキャッシュ・フロー		7,956	6,373	1,582
財務活動によるキャッシュ・フロー				
1	短期借入金の増加額（減少額）	-	8	
2	その他	26	295	
財務活動によるキャッシュ・フロー		26	287	260
現金及び現金同等物に係る換算差額		182	164	346
現金及び現金同等物の増加額		2,108	1,460	647
現金及び現金同等物の期首残高		10,686	8,073	2,612
現金及び現金同等物の期末残高		8,577	6,612	1,964

(注) 記載金額は、単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

	前中間会計期間末 平成20年12月31日現在		当中間会計期間末 平成21年6月30日現在		増 減
(資産の部)					
流動資産					
1. 現金及び預金		3,941		3,572	
2. 未収入金		17,459		15,583	
3. 短期貸付金		26,046		18,601	
4. その他引当金		8,789		8,771	
		94		198	
流動資産合計		56,142		46,329	9,812
固定資産					
1. 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	4,881		4,841		
減価償却累計額	2,997	1,884	3,008	1,833	
(2) 土地		914		914	
(3) リース資産	3,443		3,476		
減価償却累計額	182	3,261	476	3,000	
(4) その他引当金	3,297		3,484		
減価償却累計額	2,751	546	2,805	678	
有形固定資産合計		6,605		6,427	178
2. 無形固定資産		2,359		2,310	49
3. 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券		6,106		5,962	
(2) その他引当金		8,283		8,374	
貸倒引当金		772		814	
投資損失引当金		12		12	
投資その他の資産合計		13,605		13,510	95
固定資産合計		22,570		22,248	322
資産合計		78,713		68,578	10,135
(負債の部)					
流動負債					
1. 未払金		3,625		2,782	
2. 短期借入金		5,350		3,940	
3. 旅行預り金		14,255		16,468	
4. 受託販売金		17,006		11,373	
5. その他引当金		14,976		12,523	
流動負債合計		55,214		47,086	8,127
固定負債					
1. 退職給付引当金		7,904		7,668	
2. 旅行券引換引当金		2,796		2,582	
3. その他固定負債		4,118		3,836	
固定負債合計		14,818		14,088	730
負債合計		70,032		61,174	8,858
(純資産の部)					
株主資本					
1. 資本金		4,000		4,000	-
2. 資本剰余金					
(1) 資本準備金	3,001		3,001		
資本剰余金合計		3,001		3,001	-
3. 利益剰余金					
(1) 利益準備金	250		250		
(2) その他剰余金					
別途積立金	1,004		1,004		
繰越利益剰余金	681		974		
利益剰余金合計		1,935		279	1,655
株主資本合計		8,936		7,280	1,655
評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金		36		47	
2. 繰延ヘッジ損益		292		170	
評価・換算差額等合計		255		122	378
純資産合計		8,680		7,403	1,277
負債・純資産合計		78,713		68,578	10,135

(注) 記載金額は、単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

<<参考資料 2>>

中間比較損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間		当中間会計期間		増 減
	自 平成20年 1月 1日	至 平成20年 6月30日	自 平成21年 1月 1日	至 平成21年 6月30日	
営業収益					
1.国内旅行	14,793		12,770		
2.海外旅行	7,523		5,109		
3.国際旅行	547		518		
4.附帯旅行	338	23,203	298	18,697	4,505
営業費用		25,380		21,908	3,471
営業損失		2,176		3,210	1,034
営業外収益					
1.受取利息及び配当金	310		246		
2.その他	144	454	289	535	81
営業外費用					
1.支払利息	53		82		
2.その他	9	62	9	92	29
経常損失		1,784		2,767	982
特別利益		24		38	14
特別損失		104		28	75
税引前当期純損失		1,864		2,757	892
法人税、住民税及び事業税	72		62		
法人税等調整額	807	735	1,163	1,101	365
当期純損失		1,128		1,655	526

(注) 記載金額は、単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

平成21年度中間決算 販売高及び営業収益

【販売高】

(単位：百万円)

区分 種別	前 中 間		当 中 間		前年比較	
		構成比 (%)		構成比 (%)	増 減	前年比 (%)
国内旅行	135,270	65.4	114,330	70.8	20,940	84.5%
海外旅行	67,577	32.6	43,806	27.1	23,771	64.8%
国際旅行	3,953	1.9	3,243	2.0	710	82.0%
付帯事業	174	0.1	137	0.1	37	78.7%
計	206,976	100.0	161,516	100.0	45,460	78.0%

【営業収益】

(単位：百万円)

区分 種別	前 中 間		当 中 間		前年比較	
		構成比 (%)		構成比 (%)	増 減	前年比 (%)
国内旅行	14,793	63.7	12,770	68.3	2,022	86.3%
海外旅行	7,523	32.4	5,109	27.3	2,414	67.9%
国際旅行	547	2.4	518	2.8	29	94.7%
付帯事業	338	1.5	298	1.6	39	88.3%
計	23,203	100.0	18,697	100.0	4,505	80.6%